

## 5.2 現地点検のまとめ（タウンウォッチング）

### （1）現地点検の概要

#### 宝塚駅周辺地区の現地点検

日 程：平成13年12月12日（水）

時 間：14：00～17：00

調査箇所：阪急宝塚駅、JR宝塚駅、駅周辺道路、立体横断施設、主要な施設への経路

出席者：宝塚市交通バリアフリー重点整備地区計画策定協議会委員

（各事業者、障害当事者を含む）

主な工程：現地調査を実施したのち、別途会議室において調査結果や感想について話し合った。

#### 逆瀬川駅周辺地区の現地点検

日 程：平成13年12月6日（木）

時 間：13：30～17：00

調査箇所：阪急逆瀬川駅、東西駅前広場、駅周辺道路、市役所周辺道路や立体横断施設

出席者：宝塚市交通バリアフリー重点整備地区計画策定協議会委員

（各事業者、障害当事者を含む）

主な工程：現地調査を実施したのち、別途会議室において調査結果や感想について話し合った。



現地点検後の意見交換の様子



### 宝塚駅周辺の調査の状況



( 粗目グレーチングに杖が入ることを確認。)



( 車椅子での移動を体験。横断勾配が意外と手強い。)



( 車椅子での移動を体験。舗装の凹凸が気になる。)



( 立体横断施設の上りは介助する人も大変。)

### 逆瀬川駅周辺の調査の状況



( 擦付け部の段差の確認中)



( 有効幅員 1.5m では車椅子のすれ違いが難しい。)

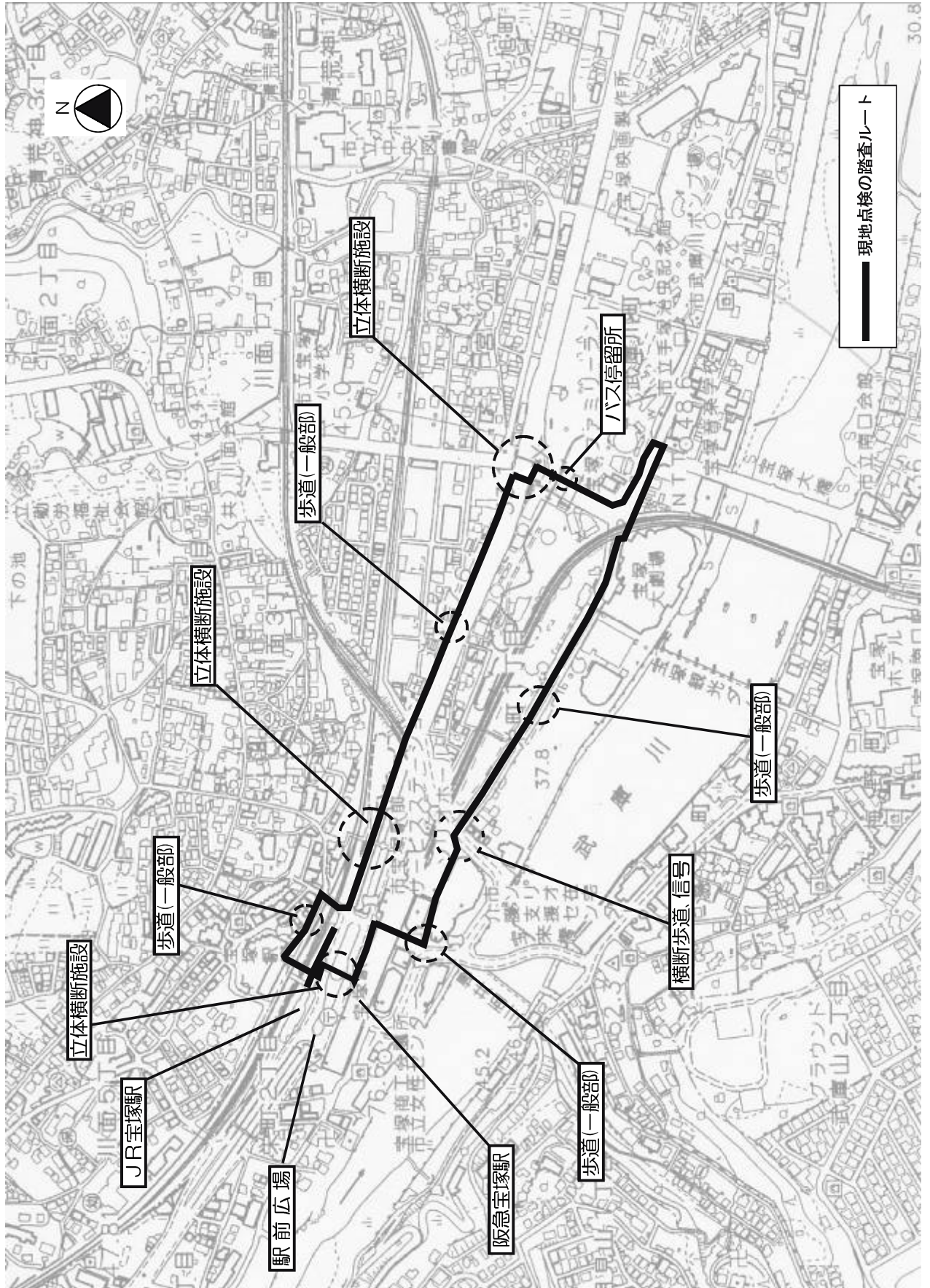


( 歩道上の街路樹が有効幅員を狭めている。)

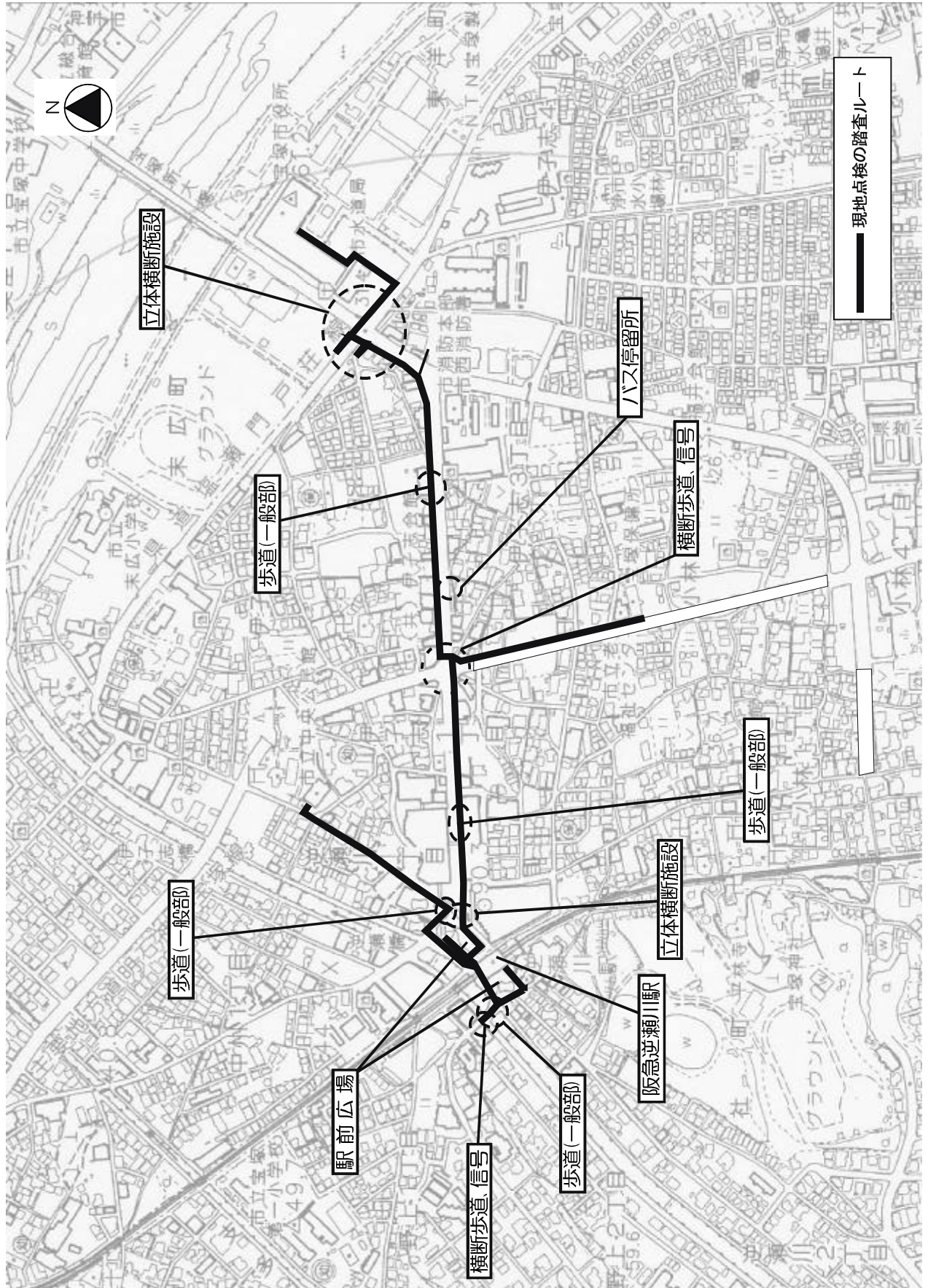


( 逆瀬川駅前広場でバス乗り場を確認中。)

# 宝塚駅周辺地区一現地点検ルート（タウンウォッチング）



# 逆瀬川駅周辺地区一現地点検ルート（タウンウォッチング）



## (2) 現地点検の結果まとめ

現地点検を行い意見交換した結果のまとめを以下に整理する。

なお、参加できなかった協議会委員から、後日提出していただいた現地点検レポートを含めて整理している。

障害別で整理している意見は、当事者から得られた意見に加え、当事者以外の方からの障害に該当する意見を含めて整理している。

### 宝塚駅周辺地区

鉄道駅舎及び駅前広場等	
全 般	<p>阪急宝塚南口駅・サンピオラ・宝塚ホテルも対象区域に入れるべき。</p> <p>J R 宝塚駅は橋上駅化にしてほしい。</p> <p>駅両側の踏切は待ち時間が長いので、踏切を含め周辺の整備を行なってほしい。</p> <p>便所の洗面所の水栓方法が光感知式ではない。</p> <p>便所の水栓器具の種類を統一することはできないか。</p> <p>便房の戸は開け閉めが大変なので、もう少し軽いものにしてほしい。</p> <p>便房内にある荷物をかけるためのフックをもう少し低い位置にしてほしい。</p> <p>駅等の空間スペースに椅子を設置してほしい。</p>
車椅子使用者	<p>( 阪急宝塚駅 )</p> <p>券売機</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・斜めのタイプは、上肢障害者には使いづらい。</li> <li>・膝が入らないので車いすでは使いにくい。</li> <li>・点字表記あり。</li> </ul> <p>エレベーター</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・13 人乗り以上が必要 ( 17 人乗りで車いすが 2 台乗れるものが最低限必要、21 人乗りで電動車いすが 2 台乗れるものより大きいのが理想 )。</li> <li>・入口幅 90 センチ以上必要 ( 120 センチ以上が理想 )。</li> <li>・鏡の高さをもっと低くしてほしい ( 顔を見る必要はない、足元が見えるようにしてほしい )。</li> <li>・乗ると自動的にホーム ( または改札階 ) へ移動するようにしてほしい。</li> <li>・足で操作できるボタンがほしい</li> </ul> <p>ホーム</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・エレベーター、階段付近はホーム幅が狭く危険である。</li> <li>・ホームドアが必要。</li> <li>・渡し板あり。</li> <li>・エレベーターのサインが近くまで行かないとわからない。</li> </ul> <p>( J R 宝塚駅 )</p> <p>アプローチ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・駅前広場北側に障害者用の車寄せが必要。</li> <li>・駅前広場からしかアクセスできず不便。ユニバーサル側からのアプローチも考慮して自由通</li> </ul>

路から入れる橋上改札を設置することが望ましい。

#### 券売機

・膝が入らないので車いすでは使いにくい。

跨線橋の階段（2 \* 47 段）は車いす利用者では大変であり、エレベーターが必要。

・エレベーターは、13 人乗り以上が必要（17 人乗りで車いすが 2 台乗れるものが最低限必要、21 人乗りで電動車いすが 2 台乗れるものより大きいのが理想）。

・入口幅 90 センチ（120 センチ以上が理想）

#### ホーム

・ホームドアが必要。

・渡し板必要。

・車輛によって高さやドアの位置が違っていて不便。

#### （駅前広場）

駅前広場の車寄せにいつも業者の車が停まっている。

同上車寄せの歩道は傾いていて危険、横断歩道の西に替えてほしい。

#### 視覚障害者

点字運賃表は設置されているが、それを探すのが大変である。

#### 聴覚障害者

車両の行き先表示等が J R にはあるが阪急にはない。

車内、構内放送の音が割れて聞き取りづらい。

### バス停留所・バス車両

#### 全 般

上屋がないところがある。

#### 聴覚障害者

車両の行き先表示等が阪神バスにはあるが、阪急バスにはない。

### 信号機等

#### 視覚障害者

音響式信号機の設置が必要ではないか。

### 道路（歩道等）

#### 全 般

歩道に段差があり、急勾配のところが多い。特に国道 1 7 6 号沿いの歩道の車の乗入れ部はひどい。

街路樹の植え込みが死角になっているところがある。

スリップ止めのついたマンホールは設置できないか。

放置自転車が通行の障害となっている。

バス交通網の整備も進める必要があるのではないか。

歌劇場前歩道橋はスロープが設置されているが利用しにくい。

#### 車椅子使用者

#### 花の道

・セルカで動線が分断される。

・途中で出られなくなるところがある。

・川側に歩道がなかったり、十分な幅員がない歩道がある。

阪急宝塚駅～宝塚グランドホテル

・歩道の確保

国道 176 号

・歩道の横断勾配がきついところがある。特にバス停付近。

・歌劇場前歩道橋にエレベーターが必要。

視覚障害者

視覚障害者誘導用ブロックのないところが多い。

歌劇場前歩道橋の手すりに点字表示がない。

#### その他全般

全 般

バリアフリーについて、何かキャッチフレーズをつけ広報等で呼びかけてほしい。

すべての人の気持ちが出せるような社会づくりも必要ではないか。

J R 宝塚駅の北側には里道も多く、ひどい状況である。

車椅子使用者

車椅子自体の改良も必要だと思う。

聴覚障害者

最近、音量増幅装置のついた公衆電話機が周りにない。



鉄道駅舎及び駅前広場等	
全 般	<p>電車とプラットホームの段差及び隙間を小さくしてほしい。</p> <p>駅構内の椅子の数を増やしてほしい</p> <p>身体障害者の特別割引切符を自動改札口に通すと、子供切符を通したときと同じ赤いランプがつくので改善してほしい。</p> <p>エスカレーターは上り下りの両方が必要である。下りは特に全体重が足にかかりしんどい。</p> <p>駅前広場内の時刻表・路線網図に照明をつけ、見やすくしてほしい。</p> <p>案内板等が見にくい。知的障害者等への配慮も必要ではないか。</p> <p>バス乗り場の椅子の数を増やしてもらいたい。</p> <p>音声案内システム等を導入してほしい。</p>
車椅子使用者	<p>( 阪急逆瀬川駅 )</p> <p>ホーム</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・車いす専用出入り口の位置を示すサインが分かりにくい。</li> <li>・ホームドアが必要。</li> <li>・渡し板あり。</li> </ul> <p>専用出入り口</p> <p>東：・アピア玄関から連続ひさしがほしい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・バス停付近に障害者用の車寄せが必要。</li> <li>・上り坂で勢いをつけて乗り込むと、ホームに転落する恐れがある。</li> </ul> <p>西：・バス停付近に障害者用の車寄せが必要。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・折り返しの踊り場が狭い。</li> <li>・駅舎内への専用出入り口は歩行者の動線と違うので廃止すべき。</li> </ul> <p>券売機</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・改札階へは車いすで近寄れない。</li> <li>・斜めのタイプは上肢障害者には使いづらい。</li> <li>・膝が入らないので車いすでは使いにくい。</li> <li>・点字表示あり。</li> </ul> <p>車椅子に乗ったまま使える高さの券売機を設置してほしい。</p> <p>エレベーターの大きさを電動車椅子でも入れるものにしてほしい。</p>
視覚障害者	<p>音声案内システム等を導入してほしい。</p>
聴覚障害者	<p>駅ホームに電光掲示板の設置をしてほしい。</p>

信号機等	
全 般	<p>市役所前歩道橋部の交差点の信号は歩行者と車の分離したかたちのものにできないか。</p> <p>アピア北へ行く橋とアピア1の間の道路に横断歩道がなく危険である。</p>



アピア前の路上駐車が多い。	
視覚障害者	
音響式信号が設置されていないところがある。	

道路（歩道等）	
全 般	<p>歩道がなく白線のみのところを通行するのは、危険である。</p> <p>通行車に注意を喚起する意味でも、舗装の色をかえることはできないか。</p> <p>中央公民館へ安全にたどり着けるルートを示した案内板を設置してはどうか。</p> <p>勾配が急なところがある。</p> <p>駅北側の踏切部をアンダーパスにしてはどうか（踏切をなくす）。</p> <p>駅東側駅前広場の角（宝くじ売り場のあるところ）が非常に暗い。</p> <p>宝塚病院前の歩道は幅員が狭いが、幅員を広げたり安全柵を設置することはできないか。</p> <p>宝塚病院前の橋（菜切橋）の歩道、車道の幅員を広げることはできないか。</p> <p>歩道はフラット形式にしてほしい。</p> <p>古い時期に整備された縁石には段差がある。</p> <p>色んなタイプ、高さの縁石があるが、統一することはできないか。</p>
車椅子使用者	<p>駅～市役所</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・駅前歩道橋にエレベーター設置。</li> <li>・歩道がタイル舗装。がたがたでしかも滑りやすく危険。アスファルト舗装に。</li> <li>・市役所前歩道橋勾配がきつい、エレベーター設置の必要あり。</li> </ul> <p>駅～市立中央公民館</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歩道が途中でなくなっている。</li> <li>・交通量も利用者（歩行者）も多いので、一貫した誘導ができるよう歩道を確保する。</li> </ul> <p>駅～宝塚南口</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・交通量が多いので車道を拡幅、歩道を設置する。</li> </ul> <p>駅～小林会館</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・交通量が多いので車道を拡幅、歩道を確保する。</li> </ul> <p>駅～宝塚病院～宝塚教会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・交通量が多いので歩道を確保する。</li> </ul> <p>西消防署～南</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歩道の拡幅とセミフラットへの切り替えが必要。</li> </ul> <p>グレーチングは、目の細かいものに取り替えてもらいたい。</p> <p>市役所前歩道橋はスロープの勾配が急である。改修は必要だと思うが、現実的に長いスロープを登りきることはできるか。</p>
視覚障害者	<p>点状ブロックは比較的設置されているが、線状ブロックはほとんど設置されていない。</p> <p>杖等で触れると音声案内がイヤホン等を通じて聞ける視覚障害者誘導用ブロック等は設置できないか。</p> <p>グレーチングは、目の細かいものに取り替えてもらいたい。</p>

その他全般

全 般

誰もが使えるユニバーサルデザインの導入が必要ではないかと思う。  
標識等は黄色に黒字のものが見やすいと聞いたことがある。  
道路は整備されていても施設への段差が結構あるので、業者等への呼びかけも必要ではないか。  
一人で外出し、一人で帰れることが重要である。  
点の整備ではなく、線の整備を行なわなければならない。

車椅子使用者

車椅子を使用する場合の視点（高さ）でまちを見る必要があるのではないか（電話やゴミ箱等の設置）。

視覚障害者

音声案内板等の設置は必要だと思うが、それがそこに設置されているということの周知、PR等が必要である。



宝塚駅周辺

ユニバーサル

- ・身障者対応型エレベーターは1箇所しかなく不便。
- ・付近の歩道は、業者の車輛や駐輪が多く利用しづらい。

ソリオ1

- ・西エレベーターが阪急休店日に2階から使えたら宝塚駅利用時に非常に便利。
- ・エレベーターは動線が同じになる中央付近にあるのが理想。
- ・身障者用トイレの位置が奥まってわかりにくい。
- ・2階テラスから利用できる店舗でも、阪急休店時には車椅子で利用できない。
- ・身障者用駐車場の数が少ない。無断駐車が多い。

ソリオ2

- ・駅から階段で、またエレベーター小さい、鏡が上過ぎる。
- ・エントランス付近が狭く傾いていて非常に危険。

セルカ

- ・駅からの動線がエスカレーターで分断されている。
- ・花の道から花舞台へのアクセスができない。

ファミリーランド・手塚治虫記念館

- ・立体動物園に入れぬ箇所がある。乗れない乗り物がある。
- ・エレベーターが小さい。鏡の位置。その他。
- ・大劇場に車いすスペースが少ない。

逆瀬川駅周辺

アピア1

- ・エントランスの自動扉が分かりにくい(1ヶ所しかない)。
- ・案内表示が小さく、色のコントラストもなく分かりにくい。
- ・エレベーターがエントランスから反対側にあり分かりにくい。
- ・2階外側からのアプローチは段差(仮設スロープ)で危険。(特に雨の日)
- ・エレベーターが小さい。鏡の位置。その他。
- ・駅から連続ひさしがほしい。

アピア2

- ・駅から連続ひさしがほしい。
- ・エレベーターが小さい。鏡の位置。その他。
- ・身障者用駐車場にいつも駐車している。あるいはコーン。

アピア3

- ・開放型エレベータを設置するか業務用を使いやすくする。

市立中央公民館

- ・身障者用駐車スペースに無断駐車が多い。

市役所・水道局

- ・身障者用エレベーターが1基しかなく不便。小さい。鏡の位置。その他。
- ・身障者用駐車場にハイルーフ車が入らない。ひさしが続いていない。
- ・バス停から入れないので不便。

## 5.3 協議会の意見のまとめ

協議会とは、宝塚市交通バリアフリー重点整備地区計画策定協議会

### (1) 開催日時

第1回協議会	： 平成13年11月13日(火)
	時間：14:30～16:30
第2回協議会	： 平成14年2月4日(月)
	時間：14:00～16:30
第3回協議会	： 平成14年3月1日(金)
	時間：13:00～15:30
第4回協議会	： 平成14年3月28日(木)
	時間：9:30～12:00
第5回協議会	： 平成14年5月1日(水)
	時間：9:30～12:00



(第1回協議会の様子)



(第4回協議会の様子)

### (2) 意見のまとめ

<b>第1回協議会</b>	
日程：平成13年11月13日(火)	
時間：14:30～16:30	
場所：宝塚市役所 3-3 会議室	
全 般	基本構想の内容については、ハード面のみならずソフト面に対しても配慮すること。 本協議会において各委員から出た意見は、基本構想の中で反映していくべき。
アンケートについて	設問内容は、可能な限りソフト面を含めたものとする。設問の文章表現によって答えが変わることもあるので十分注意すること。 対象者は偏りのないよう抽出し、外出できない方等の意見も掘り起こすべき。 調査の方法としてFAXやE-mail等を利用してはどうか。 表紙に市民を啓発するようなキャッチコピーを入れて欲しい。 自由記述欄を設けて欲しい。 アンケート結果を市民にきちんと公表して欲しい。 アンケートだけではなくヒアリング調査も実施して欲しい。 障害の種別等で質問内容を変えるべきではないか。
施設、設備等について	低床バス専用の時刻表があってもいいのではないか。
その他	基礎調査はできる限り新しいデータでまとめて欲しい。 該当しない地域(JR武田尾駅等)においても地域の取り組みは考えて欲しい。 現地調査を行なうにあたってケーススタディのようなものをつくって欲しい。

<b>第2回協議会</b>	
日程：平成14年2月4日(月) 時間：14:00～16:30 場所：宝塚市役所 3-3 会議室	
全 般	宝塚市の地勢を考えた計画にするべき。 ハード面だけでなくソフト面に対しても十分に配慮するべき。
アンケート について	自由意見のまとめを次回の協議会の資料として提示して欲しい。 障害別や年齢別においてアンケートを集計して欲しい。 少数意見についても重要視するべき。 アンケート結果から利用頻度の高い経路になった路線は、十分に検討して欲しい。 アンケートの回答の判断は厳しい視点で評価した方がよいのではないか。
特定経路等 について	すべての委員が納得のいくかたちで特定経路を選定して欲しい。 特定経路を補完する経路の位置づけを明確にして欲しい。
施設、設備 等について	エレベーターの設置する位置についても十分に検討して欲しい。 いまでも使いにくいエレベーターが設置されているのは情けない。
障害別 の意見	車椅子利用者 今後エレベーターを設置する際は、かごの大きさが出来るだけ大きく(17人あるいは21人乗り)、出入口の幅が広く(80cmや90cmでは狭い)、また貫通式の場合はある程度奥行きがある(車椅子2台が乗れる)ものにして欲しい。 車椅子の動線を真剣に考えて欲しい。
	視覚障害者 バス停留所において、各バスの行き先等の案内放送をして欲しい。 日没後、無灯火で走行している自転車を取締って欲しい。
	聴覚障害者 バス車内に可変式情報表示装置を設置して欲しい。 バス停留所にはバス接近表示システムを導入して欲しい。
	その他 整備は点としてではなく線として行うべき。 お金をかけて整備しても使いにくいものであれば意味がない。 できれば歩道はセミフラット形式にして欲しい。 実現できることをどのように重点的に整備するかを議論するべき。 電柱をどうにかして欲しい。 整備を行なうにあたっては予算という最も大きいバリアがあると思う。 福祉タクシー等のドア・トゥ・ドアのサービス拡充を行なって欲しい。 助け合うことを自然にできる文化をこの機会に宝塚市から発信して欲しい。 障害という言葉自体をなくすように広報等を通して市民に呼びかけて欲しい。



<b>第3回協議会</b>	
<p>日程：平成14年3月1日（金）</p> <p>時間：13:00～15:30</p> <p>場所：宝塚市役所 3-3 会議室</p>	
全 般	<p>10年以内という目標の中で事業に優先順位をつけ計画を具体化するべき。将来的な計画も含めて他の計画との整合性を図るべき。</p> <p>委員の意見は構想の中で何らかのかたちにして残していくべき。</p> <p>実現できないものについては表現方法を工夫して計画に盛り込むべき。</p> <p>法律で定められていることとそれ以外のことは表現方法を工夫して区別すること。</p> <p>法律で決められていることだけを計画に入れるのでは意味がない。</p>
アンケートについて	<p>宝塚および逆瀬川駅を利用する人の交通手段として「徒歩」が多いことは重点整備地区内の整備の重要性を示していると思う。</p> <p>いまの集計結果では全体像が読み取りにくい。</p> <p>高齢者や障害者のニーズが集計結果から少しは読み取れるのではないかと思う。</p> <p>不明な回答についても意味をとらえ評価を行なう必要があると思う。</p> <p>問10-3で問題となっている箇所は実状と合っていると思う。</p> <p>駅までの交通手段として「自動車を利用する」と回答した人はどのような形態で自動車を利用しているのかをもう少し知りたかった。</p> <p>各障害別に特徴的なことを拾い出すことも重要だと思う。</p> <p>問10-3の図にはそこを問題とする理由も示して欲しい。</p>
障害別の意見	<p><b>車椅子利用者</b></p> <p>アンケートの集計結果より、車椅子利用者あるいは肢体障害者はタクシーに対するニーズが高いことが確認できた。</p> <p>アンケート集計結果より車椅子利用者あるいは肢体障害者の行動距離は250m以下に制限されており、現在のバス停の間隔（400m）では非常に不便であることが確認できた。</p>
	<p><b>視覚障害者</b></p> <p>視覚障害者誘導用ブロックの色は黄色に固定するのではなく、コントラストを考えて色を決めて欲しい。</p>
その他	<p>JR宝塚駅は他の方面からの利用客も多いので、広域的な観点で考えていくべきだと思う。</p> <p>危険と感じる場所に信号機がないことがある。</p> <p>駅の周辺にはあまり信号機がない。</p> <p>不法駐輪、駐車取締りを強化して欲しい。</p> <p>スペシャルトランスポートサービス（STS）の整備を行なっていくべきだと思う。</p> <p>リフトタクシー等はまだまだ十分に利用できないのが現状である。</p> <p>コミュニティバスの導入も必要だと思う。</p>

<b>第4回協議会</b>	
<p>日程：平成14年3月28日(木)</p> <p>時間：9:30～12:00</p> <p>場所：宝塚市役所 研修室</p>	
全 般	<p>提示した意見が今回の基本構想(案)に盛り込まれていない。</p> <p>整備内容においては、実現が難しいことも必要であれば検討していく必要がある。</p> <p>基本構想策定後は評価を行なう必要があり、その方法を具体的に盛り込んで欲しい。</p> <p>委員からの意見はくまなく吸収して計画に盛り込むべき。</p> <p>実現可能性の低い内容なら、その理由を基本構想に盛り込めばいいと思う。</p> <p>事業者の意見は反映されて、市民の意見が反映されていないのはおかしい。</p> <p>JR宝塚駅では、特にエレベーターなどについては乗降客数が多いことを踏まえて、移動円滑化基準よりも更にゆとりを持った構造で整備する必要があると思う。</p> <p>今回の資料は実現できることだけがまとめられているように感じる。</p> <p>目標年次、進行管理(評価)の重要性については基本構想の中に盛り込んで欲しい。</p> <p>実現できないものも表現を工夫して基本構想に盛り込んで欲しい。</p> <p>実現できることを重点的に整備していくべきだと思う。</p>
重点整備地区及び特定経路等について	<p>阪急宝塚南口駅も宝塚駅周辺重点整備地区に含めた計画とするべきではないか。</p> <p>伊和志津神社からマツヤ電気までの道路(都市計画道路宝塚仁川線)は既に整備されており特に特定経路として設定する理由がわからない。</p> <p>利用頻度の高い路線を特定経路に設定していない理由がわからない。</p> <p>特定経路を補完する経路についても整備内容をもう少し明確にして欲しい。</p> <p>本市の地形的な制約上、特定経路を補完する経路を含めないとネットワークが形成されないといえる。したがってその必要性を基本構想に記載すればいいのではないか。</p>
施設、設備等について	<p>駅の構内におけるホームドア、ホーム柵に関する記載がない。</p> <p>ホーム柵を設置することは逆につまづいたりして危険なことではないかと思う。</p> <p>駅の構内における案内情報は視覚的にも聴覚的にもわかりやすいかたちで提供して欲しい。</p> <p>市役所前の歩道橋にはエレベーターを設置して欲しい。(あえて歩道橋を撤去し横断歩道化する理由がわからない。)</p>
障害別の意見	<p>車椅子使用者</p> <p>JR 踏切東側の歩道橋(市道栄町線)のスロープの勾配は急なので改善して欲しい。</p> <p>阪急宝塚駅からアピア2に接続する階段を改善して欲しい。</p> <p>エレベーターを主動線から外れないところに設置して欲しい。</p> <p>阪急宝塚駅から花のみちまでの移動を円滑なものにして欲しい(エレベーターの改</p>

	<p>良等)。  工事等で仮設道をつくる場合でも車椅子が通れる経路を確保して欲しい。</p>
	<p>視覚障害者</p> <p>重点整備地区内で横断歩道がある箇所についてはすべて音響式信号を設置して欲しい。</p>
	<p>聴覚障害者</p> <p>駅前広場の主な整備内容の中の案内情報の提供については、聴覚障害者のことも盛り込んで欲しい。  鉄道、バス車両内に次の駅や停留所がわかるような文字表示装置を設置して欲しい。</p>
その他	<p>J R宝塚駅の橋上化の問題は今後の課題ではなく、主な整備内容の中に盛り込んで欲しい(なぜなら上位計画である宝塚市総合計画の中にも橋上化の文言が入っているため)。  JR宝塚駅は乗降客数が多く、エレベーターだけでなくエスカレーターも設置して欲しい。  JR宝塚駅東側の踏切の問題についてあまり記載されていない。  踏切、橋上化の問題はまちづくりという視点から考えるべきだと思う。  橋上化はまだ具体化されていないので整備内容の中ではなく、今後の課題に書くべき。  橋上化問題のありのままの現状(費用面、技術面等)を基本構想の今後の課題以外のところに記載すればいいと思う。  地元、市民等の要望が多く、宝塚市の上位計画にも記載されている橋上化についてはいろいろな手法を検討していく中で考えていきたいというような表現にして欲しい。  歩道の連続性については歩道の欠落等も考慮するべき。  放置自転車は行政と鉄道事業者、施設管理者等が地域と一体になり取り組む必要がある。</p>





<b>第5回協議会</b>					
<p>日程：平成14年5月1日(水)</p> <p>時間：9:30～12:00</p> <p>場所：宝塚市役所 3-3 会議室</p>					
全 般	<p>本構想に則して事業を進めるにあたって、財源がどの程度不足しているのか等の市の財政的な情報も提供して欲しい。</p> <p>平成14年度において市が用意しているバリアフリーの道路に関する財源は約6,000万円である。</p> <p>今後の課題を整理しているが、これは20～30年先のような話に聞こえる。今後は教育委員会等も含め小学生等に「心のバリアフリー」を啓発すべきではないか。</p> <p>移動円滑化基準の最低ラインで整備するのではなく、より良くするための努力を続けて欲しい。</p> <p>実際に行政等が努力しても市民に情報が届かなくては意味がないので、広報等を含めて情報提供することが重要と思う。</p> <p>「心のバリアフリーの醸成」についても計画内容に盛り込むべきではないか。</p> <p>宝塚ファミリーランドの閉鎖については配慮した方が良いのではないか。</p> <p>今後の課題についても、整備内容と同じウエイトで事業計画に盛り込んでいただくことを願う。</p>				
特定経路等について	<p>地域都市計画が進めば小学校が地域の生活拠点として注目されるはず、小学校への経路が特定経路として位置づけられていないものもあるので、考慮すべきではないか。</p> <p>駅と駅を結ぶ経路も重要ではないか。</p>				
施設、設備等について	<p>JR宝塚駅の橋上化については、移動経路の短縮という観点から重要であると考える。</p> <p>JR宝塚駅は橋上化するより、北側に出入口を設ける方がよいのではないか。</p> <p>JR宝塚駅は将来橋上化が図られる場合を想定して、無駄にならない移動円滑化整備を考えていくべきである。</p> <p>阪急逆瀬川駅には、現時点で可変式情報提供装置等を設置する予定はないので、個別目標の中で配慮して欲しい。</p> <p>現状では誰にもわかりやすい案内表示の設置は非常に難しい。</p> <p>JR宝塚駅の橋上化とバリアフリー化は少し別次元の問題ではないかと考えている。</p>				
障害別の意見	<table border="1"> <tr> <td>車椅子使用者</td> <td>市役所前歩道橋のエレベーターは平面横断できれば必ずしも設置する必要はないが、もし自動車交通との関係で平面横断できなければ設置するべきである。</td> </tr> <tr> <td>聴覚障害者</td> <td>当事者として参加したが大変勉強になった。</td> </tr> </table>	車椅子使用者	市役所前歩道橋のエレベーターは平面横断できれば必ずしも設置する必要はないが、もし自動車交通との関係で平面横断できなければ設置するべきである。	聴覚障害者	当事者として参加したが大変勉強になった。
車椅子使用者	市役所前歩道橋のエレベーターは平面横断できれば必ずしも設置する必要はないが、もし自動車交通との関係で平面横断できなければ設置するべきである。				
聴覚障害者	当事者として参加したが大変勉強になった。				
その他	<p>バス事業者は、まずは低床バスの導入を推進していく必要があり、次いで車外への情報提供なども出来る範囲で取り組んでいく必要がある。</p> <p>公共交通事業者間でバリアフリーに関する情報をある程度共有することが重要ではないかと思う。</p> <p>道路管理者としては、今後の実施計画を作成するなかで、出来るところから取</p>				

りかかっていく必要があると考えている。

違法駐車、駐輪対策については、現在も地域の方々と協力し取り組んでおり、この基本構想による重点整備地区という位置づけに即し、今後さらに強化する必要があると考えている。

阪急逆瀬川駅周辺等の違法駐車、駐輪は短時間のものが多い

事務局の前向きなところが理解できたし大変勉強になった。

今後、本協議会で策定した基本構想の検証を行っていくべきである。

